知情識報

戦と技能 技術に

の習得

発情報を

の方法を収集・対

の整理解・

表現

の報

考えを形象を効果的

活して

しょ

力自

【取組内容】 発達段階に応じた情報活用能力の段階的な育成

② 情報活用能力の育成 発達段階に応じて段階的に情報活用能力を育成していくために、「情報活用能力育成のための指導計画」を作成している。各学年で身に付けておくべき活用能力を共通理解し、できることは前倒ししながら活用能力の習得を目指している。今後は、定期的に児童が達成度チェック行っていくことで、児童の達成意欲も高まり、効果的だと考える。

【情報活用能力育成のための指導計画】

情報活用能力				学年及び学習内容等					
				1 学年	2 学年	3学年	4 学年	5 学年	6 学年
A. 知義及び技能	1	情報と情報技術を適切に活用 するための知識と技能	①情報技術に聴する技能 ②情報と情報技術の幹性の理解 ③配号の組合セ方の理解	コンピュータの存在を知る コンピュータの起動や終了、写真策 影などの基本操作 電子ファイルの呼び出しや保存力法	国津福美・ペイント系アプリケー ションの操作 大きな事業の分解と組み合わせ の体験 生底料「わたしの町はつけん」 図エ「あなのむこうはふしぎなせ かい」	キーボードなどによる文字の正 レい入力法 電子ファイルの検索 インターネット上の情報の閲覧・検索 国語科「コンピュータのローマ字 入力」 社会科「かわる連典とくらし」	簡単な繰り返し・条件分岐、データや変数などを含んだプログラ 人の作成、評価、改善(算数料: 変わり力) ショートカットキーを覚える コピー=Ctritで 類件=Ctritで 切取=Ctrit× 切取=Ctrit×X	キーボードなどによる文字の正 確な入力(総合「均原小環境調査 際」) 電子ファイルのフォルダの管理 方法(総合「ふれあおう大自然」) タイピング速度 10分間に100~200字	意図した処理を行うための教着 なプログラムの作成、評価、改善 収売(グローチャートなど)によ る単純な手順(アルゴリズム)の 表現が左。復略: 水よう液の性質、 私たちの生活と電質、 クイビング速度 10 分間に 200 字以上
	2	問題解決・採水における情報 活用の方法の遺解	①情報収集、整理、分析、表現、発情の理解 ②情報活用の計画や評価・改善のための 理論や方法の理解	減攻なところかり様々な情報を収集 する方法の国無料「しらせたいな、み せたいな」) 情報の女性を見える方法 見違と根系、順序などの情報と情報 との関係	係々な情報を収集し、裏をな絵や 図、数やクラフなどを用いて、情 報を整理する 情報を組み合わせて表現する 相手に伝わるようなプレゼンテ ーションの方法 国届料「飲がいっぱい」 生庶料「わたしの町はっけん」	係の収集の方法 目的を言識して情報店用の見通 したなてる 考えと理由、全体と中心などの情 保と情報との原理の方法 関係を使めた更やグラフを用い た情報の原理の方法 関係「じしゃくのふしぎ」「ものの 重さ」「ほうグラフ」	対策が特別、関係、変化を従える 力量 加手や日的を言葉したプレゼン デーションの方法(場合:4月か キップが大学の第一次である。 信仰の周用を誓り取り、改善点を 別がだす手類(短期料:生活調査 数)	調査で本幹・収益等による信仰の 収集と検証の方法(理料・付集と 別項と結果など情報と情報との 関係(理料・「ありこの輸金)) 目的に応じた数をグラフを用い た情報の整理の方法(社会料「木 美とのなるが情報」) 複数の電点の方法(性会料「木 美とのための情報と受け情報 関題解決のための情報及び情報 関題解決のための情報及び情報	項書と図書との解析(1)の仕力 質素の表現手段を組み合われて 設実する方法 (加藤村: 私たちに できること) 関き手のやとりを含か無め なフレゼンデーション方法(総合:地域の実験を調べよう) 関係を記録を表示に発展する 変句、集集を必要を 製成、集集を選べよう) (総合:地域の支験を調べよう)
	3	情報モラル・情報セキュリティなどについての理解	①情報技術の役割・影響の理解 ②情報モラル・情報セキュリティの理解	コンピュータなどを利用するときの 基本的なルール	人の作った物を大切にすること や他者に伝えてはいけない情報 があること 算数料「かけ算 (2)」 学話「みんなで使うものを大切に しよう」	博像社会での情報収率の店用 自分の情報や他人の情報の大切 さ 道施「新聞係」 学品「インターネットの正しい使 い力を知ろう」	生活の中で必要となる基本的な 情報でキュリティ 情報の発信性機能をやりとりす る場合の責任(学話:インターネ ット、誘角電話の正しい使い力を 加ろう)	博務社会での情報技術の集を 情報化に伴う産業や国民生活の 変化(社会料「本来とつながる情報) 情報に関する自分や起常の権利 情報ネットリーク上のルールや マナー(連携料「だれかを傷つけ る機械ではない」)	情報を守るための力性 (国語科: 日本文化を発信しよう) 情報技術の悪用論する応険性 発信した情報や情報社会での行 動が及ばす影響 (学店: 『よいこ と・わるいこと』について考えよう) 情報メディアの利用による健康 の影響 (保健: 常気の予防)
B.思考力、判断力、表 現力	1	問題解決・採水における情報 を活用する力(プログラミン グ的思考・情報モラル・情報セ キュリティを含む)	事業を情報とその結び付きの拠点から提 え、情報表が情報技術を者切かへ効果的 に佰用し、問題を見足・解決し、自分の考 えを形成していく力 ①必要な情報を収集、整理、分析、表現す る力 ②動たな意味や価値を創造する力 ②受け手の状況を指まえて発信する力 ②自らの情報活用を評価・改善する力	身近なところから原理に関する様々 か増展を収集し、開発を整理する(年 展刊 いきものなよし) 関係の大体を使え、分解・整理し、自 分の背裏でまとめる	部手を蓄強して、分かりやすく表 現する 関連性の 加配解的における情報の大切さ を意義しながら情報が再を探り 取り、身とに気付くことができる 算数料「九九のひょう」	調金や資料等から関係を収集し、 関係関本のつながりを見つけた 別、概念を含め、運動を含め、 フ等を指導した「得えるための性」 前とを用いたりして関係を整理す 、 関係を抽象化するなどして全体 かな時常や差点を授え、新たな考 えを認めませな。 事数解「征うグラフ」	異項方面を称手に合わせて選択 し、部子の部が応じて、自然の 情報を基本のとかで高別に表現 する(銀行・規格・サラスタンド) 間の場合の出来を関う返り、素 期の組み合わせをどのように改 著していけば似いのかを考える (国版計: もしものときにそなえ よう)	日的に応じた間報メディアを建 実し、職を全実務等を扱う合わせ、 かが日標を観り、「編えるための物語」 を書り、「編えための物語」 を書り、「展示し、情報を整 生産」 を表し、 日本の・ 日本の	博用の機内に変化を授え、単込の や期間を終わり、他との転用や の用を登集しなりの難に対する機力を書きない。 の用を登集しなりの難に対する機力を指する「算数等に 間を見なり、複数をを機関がに考える 切り、複数をを機関がに考える (総合:単板の数率をあう) (総合:単板の数率をあう)
C.学びに向かう 人間 性等	1	問題解決・探求における情報 括用の態度	①多角的に情報を検討しようとする態度 ②試行時間し、計画や改善しようとする 態度	事象と関係する情報を見つけようと する (関係科「しらせたいな、みせた いな」) 問題解決における情報の大切さを意 厳して行動する	情報を複数の拠点から捉えよう とする 情報の居用を握り返り、負さを見 つけようとする 生無料「生きものはつけん」	情報同士のつながりを見つけよ うとする 新たな視点を受け入れて検討し ようとする 国籍科「山小屋で三日間逃ごすな ち」	日的に応じて情報の旅用の見通 しを立てようとする (算数科:折 れ様グラフ) 情報の原用を振り返り、改善点を 見いだそうとする (件資料:器械 運動)	情報を構造的に理解しようとする (社会科「本来とつながる情報」) 複数の視点を想定して計画しようとする (総合「ふれあおう大自然」)	物事を批判的に考察しようとする(理科:私たちの生活と電気) 情報を創造しようとする 情報及び情報技術の活用を振り 変り、効果や改善点を見いだそう とする(総合:佐太よう平和)
	2	情報モラル・情報セキュリテ ィなどについての態度	①責任をもって遵切に情報を扱おうとする態度 ②情報社会に参加しようとする態度	コンピューサなどを利用するともの 基本的なルールを超まえ、行動しよ うとする	人の中かた地を大切にし、様素に 低えてはいけない情報を守ちう とする 関本や智様対策を選切に使おう とする 関エ「まどのあるたてもの」 関係科(すてきなところをつたえ よう)	日総の標準や個人の情報の大切 を報金は、単述上シャド 情報過度ネットワークを協力し で使おうとする 温度・経際信 等所(インターネットの正しい後 い力を知ろう」	関係の報信を与えらす。 通常に56~ルーナーのある ことを確定も、重要しようとする 関係や確保技術を生活に応かて うとする (道勝村: かわいくない)	編集に関する品かや総合の指則 からことを確認を、難しよう とする (運解料 パンターネット の機不能) 連携ネットワーク上のルールや マケーを指え、行動しようとす ものであるという意義をもって 行動する	生活の中で次更となる研修セルフライについては、作品・ション・イルンの一点、大変をしまった。 (学語・インターキン・・ 特別を取り、アプルに気をつけるう) 無信した情報を得る。 (特別した情報を得るまた。 (特別した) とうとする (協議・メディアル) 別所による情報・分別の影響を指す。 (対別して) との影響をは、対別の学的) 情報・対別の学的) 情報・対別の学的) はため、大変を受ける。(対別して) というないない。

ノートに書いた自 分の考えを写真 に撮り、オンライン ホワイトボードソフ トにあげる



学習のふり返りを スプレッドシートに まとめ、学びを蓄 積していく

学習したことや自 分で調べたことを、 図や写真を入れ ながら、ホワイト ボードソフトやスラ イドにまとめる



ホワイトボードソフトを 活用して、自分の考 えをまとめる